議員でつくる広報誌

むかわ議会だより

２Ｐ～９月定例会、第５回臨時会
５Ｐ～ここが聞きたい！５人の議員が一般質問
11Ｐ～出前議会報告（愛誠会・慶寿会）
13Ｐ～委員会報告
（総務厚生・経済文教・恐竜ワールド・胆振東部地震）

No.55
令和２年(2020年)10月31日発行

発行責任者 むかわ町議会
〒054-8660　北海道勇払郡むかわ町美幸２丁目88番地
編集 議会広報委員会
☎ 0145-42-2486　FAX 0145-42-4994

第3回議会定例会

令和2年第3回議会定例会は、9月10・11日の2日間開催されました。
5名が一般質問を行い、町長から提出のあった報告5件、議案9件を可決しました。
意見書案は、4件を審議し、4件を可決しました。

報告第9号

★令和元年度一般会計繰越明許費の一部訂正

⊙農業基盤整備事業で、
1618万3千円を
1318万3千円に訂正

⊙鵡川地区教育施設災害復旧事業で、
3606万1千円を
3506万1千円に訂正

報告第10号

★放棄した債権
148万6568円

⊙情報通信施設使用料
6400円　1名

⊙公営住宅使用料
120万5310円　3名

⊙国民健康保険直診勘定
診療収入
1万1270円　4名

⊙国民健康保険直診勘定
診療外収入
3万9828円　2名

⊙上水道事業水道料金
21万7272円　2名

⊙上水道事業簡易水道等
料金
6488円　2名

報告第11号

★令和元年度町財政健全化判断比率

特に問題はありません

区　分	健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	―	14.81%	20.00%
連結実質赤字比率	―	19.81%	30.00%
実質公債費比率	9.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	3.0%	350.0%	

報告第12号

★専決処分（工事請負契約の変更）

⊙春日旭岡線災害復旧工事
1億2571万9千円に
2927万7100円を追加

報告第13号

★専決処分（工事請負契約の変更）

⊙栄豊田線災害復旧工事
1億5730万円を
1億5521万円に改める

質疑

問 北村　修議員　工事契約金額が減額になった理由は。

答 工事面積の減少により減額となりました。

【議案審議】

議案第68号

◆防災行政無線施設設置条例の一部改正

防災行政無線（移動系）デジタル化により、電波の届く範囲が狭くなり、基地局を仁和、稲里、富内に増設。

鵡川地区市街地に個別受信機を増設。

質疑

問 野田省一議員　穂別と鵡川間は、中継がなくても通信は可能ですか。

答 基地局5つは光ケーブルで接続され、移動局同士や全体で通信が可能です。

問 山崎満敬議員　①障がい者や高齢者など、個別受信機を設置する範囲は。
②スマートフォンのライン

などを利用して、防災無線を聞くことができる調査研究はしていますか。

答 ①１００台設置を予定し、70歳以上の方で、耳が不自由な方などを優先して配備します。
①現在、フェイスブックで１０００件程見られています。
　ラインは若い世代で90％使用しているデータもあり現在検討しています。

◆一般会計補正予算

主なもの

議案第69号

・高度無線環境整備
　５億７００万円
・公共施設ＬＥＤ化
　４３０５万円

問 大松紀美子議員　保育の関係者や教育関係の方々へ、支援金を支給すべきと思いますが。

答 国の支援金事業は、重症化リスクが高い方に接する方が対象で、道の動きを見ながら検討していきます。

問 佐藤　守議員　四季の館管理運営事務で修繕費の内容と、損失補塡の算定基準は。

答 修繕は、過去3年分の実情を踏まえ、今後見込まれる部分として、予算計上しました。
　損失補塡も過去3年分の平均額との差額を算出しました。

問 中島　勲議員　四季の館管理運営事務で消耗品・製作加工委託費と修繕費の具体的な内容は。

答 消耗品・製作加工委託費は、コロナの予防対策として、パーティション、従業員の安全を確保するための造作です。
　修繕費は、９月議会までに比較的大きな修繕が発生し、今後の緊急対応のための追加をしました。

問 野田議員　商品販売サイト販売促進等支援事業で、
①国の持続化給付金との併用は可能か。
②事業主体はどこで誰が審査するのか。
③ＥＣサイト改修のためのハードは対象になるのか。
④予算がオーバーした場合は。

答 ①国の持続化給付金との併用は可能です。
②町の事業で、書類等提出していただき審査をして採択します。
③今回想定していませんが実施要綱を整備するまでに精査をして発表します。
④改めて検討します。

今年も豊作

問 北村　修議員　エゾシカ捕獲実証事業で、
①捕獲が目的なのか、調査が目的なのか。
②事業主体が鳥獣被害防止対策協議会になっていますが、構成団体は。
③捕獲後の処理は、誰がどうするのか。

答 ①捕獲も含めてセンサーカメラを用いて、シカが季節による農作物の作柄での動向を把握、捕獲と調査を併せ持った内容です。
②町が事務局で、ＪＡ・地区の営農区・農事組合・関係機関として、農協・猟友会などで構成しています。
③構成員、地元の猟友会の協力をいただき、処理をしていく予定です。

問 北村議員　ホッキ貝の補助関係で、３月までスパンが長く価格変動があるが、どのように考えて行うのか。

答 補助金額については、事業期間中に漁獲したホッキ貝漁獲量に、キロ当たり20円、又は、事業期間の平均単価を前年同時期の単価から引いた額の、低額となる方の単価を乗じた額を補助します。

議案第70号

◆国民健康保険特別会計補正予算

・償還金　868万3千円

議案第71号

◆後期高齢者医療特別会計補正予算　▲55万2千円

議案第72号

◆介護保険特別会計補正予算

・精算返納金　2287万7千円

議案第73号

◆上水道事業会計補正予算

米原地区川東増圧ポンプ室送水ポンプの更新

・施設整備費　352万円

【意　見　書】

採択された意見書

意見書案第5号

●林業・木材産業の持続可能な施策の充実・強化を求める意見書

提出者　北村議員

意見書案第6号

●国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

提出者　北村議員

意見書案第7号

●新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書

提出者　野田議員

意見書案第8号

●新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

提出者　野田議員

令和2年第5回議会臨時会

7月13日開催されました。町長の行政報告があり、議案4件を可決しました。

【議案審議】

議案第61号

◆特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例案

職員の懲戒処分に伴い、行政運営の指揮監督責任を明らかにするため、令和2年8月1日から令和2年8月31日までの1ヶ月間、町長及び副町長の給与月額を10パーセント減額するため改正を行うものです。

議案第62号

◆令和2年度一般会計補正予算に関する件

国庫補助金等の歳入、民生費等の歳出をそれぞれ8524万7千円追加し、歳入歳出予算の総額を113億2374万円とするものです。

議案第63号

◆令和2年度上水道事業会計補正予算

収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正。

収入に水道事業収益等191万3千円を補正し、費用に営業費用等191万3千円を補正。

収益的収入及び支出の予定額をそれぞれ2億9920万円とするものです。

議案第64号

◆令和2年度下水道事業会計補正予算

収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

収入に公共下水道収益等129万2千円を補正し、費用に営業費用等129万2千円を補正する。

収益的収入及び支出の予定額をそれぞれ3億4113万3千円とするものです。

上手に運んでね

むかわ町のことが聞きたい

９月定例会では、５人の議員が12件の一般質問を行い、活発な質疑を展開しました。
質問と答弁を要約した内容は、６ページから10ページです。

６ページ
大松紀美子　議員
〇インフルエンザ予防ワクチン接種に助成を

７ページ
野田省一　議員
〇愛誠園の要望をどうするのか
〇まちなか再生の課題は
〇コロナ後のまちなか再生は

８ページ
東　千吉　議員
〇愛誠会を地域の経済産業と位置づけを
〇ホッキ貝の漁獲制限と単価助成は
〇町内のバス運行と土日の関連サービスは

９ページ
中島　勲　議員
〇穂別診療所の調整交付金過少申告について
〇旧布施旅館の保存経過について

10ページ
北村　修　議員
〇施設を「核」にまちなか再生
〇感染を広げないためにＰＣＲ検査を
〇核ごみ持ち込みについて

※紙面の都合上、掲載していない質問項目もあります。

インフルエンザ予防ワクチン接種に助成を

適切に判断します

大松紀美子（おおまつきみこ） 議員
OOMATSU KIMIKO

町内の感染者はいません

問 町内で、新型コロナウイルスの感染者が出たのですかとか、ＰＣＲ検査を待っている人がいるのですかとの問い合わせがありました。

新型コロナに関する情報開示を行うことで、町民は正しい状況や実態を共有することが出来、町民一人ひとりが、感染対策として何を行うべきかがより明らかになると考えます。

①町民に感染者はいますか。

また、ＰＣＲ検査数は。

②現在町は、感染防止を促すアナウンスを行っていませんが、感染予防対策の啓発を行う必要があると考えますが。

③この冬、コロナとインフルエンザが同時に流行した場合の対策として、インフルエンザ予防のワクチン接種の推奨を行うべきと考えますが。

④医療、介護、教育従事者へのＰＣＲ検査を行うべきと考えますが。

答 ①現在町民に感染者はいません。

ＰＣＲ検査を受けたのは、2名3回です。

②感染予防を促すアナウンスは2月14日から7月6日まで行ってきました。

今後も、気を引き締めながら、注意喚起に努める考えです。

③町は、これまで重症化リスクの高い定期予防接種対象者に加え、任意接種の1歳から15歳の町民が千円の自己負担で接種を受けることができる助成をしています。

65歳以上の高齢者の接種率は45％になっています。

接種率を高めるために推奨したい考えです。

④厚生労働省からの詳細はまだですが、今後検討したいと考えています。

お味は？

インフルエンザ予防接種費用に助成を

問 16歳から64歳までの任意接種の費用は約3千円かかります。

地方創生臨時交付金を活用し助成を行う考えは。

答 費用の助成については、他の積極的な自治体の取り組みを見ながら適切に判断したいと考えます。

2つの医療機関の発熱診療体制は

問 厚生労働省は、インフルエンザ流行期に備え、地域のかかりつけ医に対し、10月中に整備を求めています。

鵡川厚生病院、穂別診療所の体制は。

答 厚生病院は駐車場に、待合室と診療室用にプレハブ2棟を用意します。

穂別診療所は、救急出入り口から対応します。

穂別診療所では、ＰＣＲ検査についても簡易キットを使い検査が出来ないか内部検討を進めています。

愛誠園の要望をどうする

精査し計画書で明らかに

問 次の3年間の介護保険事業計画が間もなく策定時期となるが、社会福祉法人との協議はどのように進んでいますか。

答 医療機関や地域ケア推進会議でも、現状の介護サービスの課題、今後の施設サービスや在宅サービスの在り方について、意見交換を実施し、2つの社会福祉法人とは、個別協議を重ね具体的な方向性を決めていきたいと考えています。

問 愛誠会から6月には今後の施設の概要について要望されてきましたが、この意向は次期計画に盛り込んでいけるのですか。

答 愛誠会については、必要なサービス量等の意見交換で再確認し、今後、例えば、耐震補強の在り方だとか、道の補助など具体的に事業費を精査し補助対象外事業計画を明らかにし、これからの次のステップに向けて精査を図り、支援について、次期計画書の中では明らかにしていかなければならないと考えています。

まちなか再生の課題

施設と動線を注視研究

問 今年、近隣で「ウポポイ」が開業されましたが、施設の立地場所と離れたままちなかの活性化には厳しい状況が見受けられ、「ウポポイ」の中心施設と市街地との回遊の実態について、調査研究し、まちなかの再生に活かすべきではありませんか。

答 ウポポイが一定の入館来場制限、規制を持った中での開業で、これを短期間での検証は、今の段階では限界と考えます。

しかし、随時、人と物の流れ、拠点施設とまちなかとの動線をしっかりと注視していきます。

野田（のだ） 省一（しょういち） 議員

NODA SHOUICHI

コロナ後のまちなか再生

今を体得し利活その先に

問 コロナ禍の中でネット利用は増大し、学校にもタブレットが生徒全員に配備される時代、ネット修学旅行だとか、研修授業専用の学習専用にウェブの開発を特化するなど、情報通信技術を利用したまちづくりがキーワードになってきていると思います。

今後の観光に結びつけるチャンスではないかと思いますが。

答 コロナ禍、地震被災の逆境をプラスに転じていく視点の提起は、今を体得の機会とし利活し、その先につなげるピンチをヒントにして、ヒントをチャンスに震災復興、地方創生、コロナ禍からの回復も含め、前向きに進めていきます。

3蜜を避けて

愛誠会を地域の経済産業と位置づけを

昭和の時代からの位置づけと、これまでどおり

東（あずま）　千吉（ちよし）　議員
AZUMA CHIYOSHI

問　愛誠会の地域貢献度は11事業定員350名が、現時点で270名程度、雇用の創出は町内在住約138名の職員で4億円強の給与支払いがあります。

　産業の位置づけの少ない穂別地区において、基幹産業である農業者の所得が約4億円と、地域経済に及ぼす影響は同等。

　人的にも職員、町内在住140名程度、総合計画で経済産業の位置付けが必要では。

答　昭和の時代からの位置づけとして、福祉部門と福祉産業との確認をしています。

ホッキ貝の漁獲制限と単価助成は

1人当たり5トン。kg当たり20円の補助金を計上

問　主力のホッキ貝の単価安で経営が難しいようですが、漁獲制限と単価助成、販路拡大支援は。

答　1人当たり許容量は5トン、漁業者45名に対し450万円の補助金を計上しています。

　販路拡大支援と単価対策については、適宜漁協と連携した取り組みを実施していきます。

　収入確保では、漁獲額、量の増が直結するので、積極的な漁協の取り組みに町の支援をしていきます。

バス運行と土日の関連サービスは

地域公共交通活性化協議会で協議を行っています

問　バス利用者から、もっと利便性を良くと聞くが、予約受付時間帯、運行タイムスケジュール、運行回数土日の関連サービスとハイヤー補助も含めた地域交通の利便性確保の検討は。

答　町内バスの運行は、道南バス・むかわハイヤー・穂別ハイヤーの3社で事業を進めています。

　道南バスは定時路線9便予約路線4便、むかわハイヤーは6系統、平日20便、土日12便、穂別ハイヤーは予約制で4系統、平日43便土日・祝祭日26便を運行しています。

　協議会で検討していきます。

陽気に農作業

穂別診療所の調整交付金過少申告について

問 この制度は、へき地診療所の経営赤字の一部を「へき地直営診療所運営費補助」として国が穂別診療所に交付するものです。

過少申告額は、平成26年からの5年間で９６８０万円です。

このことはむかわ町の一般財源に大きな影響を与えています。

この問題については本年2月に概要報告がありました。

半年間経過した現在、問題解決に向けての対処経過はどのようになっていますか。

答 北海道の説明では国との協議を踏まえ、交付金の追加は認められないということでした。

今後に向けては再発防止に向けさらに緊張感をもって対応することが確認されました。

問 これは最終結論ですか。

答 今の段階ではここで打ち切りかと思っています。

旧布施旅館の保存経過について

問 胆振東部地震発生から2ヵ年経過しようとしています。公営住宅、高校野球部寮あるいは民間によるマンション等の復興作業は目に見えて進んでいます。

町長は地震直後、布施旅館は本町の貴重な文化財産でもあるので所有者と連絡を取りながら保存に努めたいと発言されていました。

旧布施旅館は明治時代にあっては旅人の宿場はもちろんそのほかにも駅逓機能を持ち、駅逓人宿場さらには彼らが利用した馬をつなぐ馬屋の存在など本町発展の歴史的役割に大きく貢献したのみならず、日高地方などへの情報伝達の起点という文化的、歴史的に貴重な足跡を残しています。

保存経過はどのようになっていますか。

答 現段階では活用計画については未定です。

今後の具体的な継承の在り方、あるいは保存の在り方、活用策については「まちなか再生検討委員会」での議論を踏まえて判断をしていきたいと考えています。

問 建物の部材は、旧生田小学校に保存していると聞いていますが、旧布施旅館のどの部分をどれほどの分量で保存していますか。

答 明治初期の建築資材ということで保存しています。

旧布施旅館に向かって右手のほうが古い建物で、その部分を保存しています。

問 保存している部材の具体的な部分はどのようなものですか。

答 梁、柱、明治時代に作られた建具などは非常に珍しいものなので、こういった部材を保存しています。

中島（なかじま） 勲（いさお） 議員

NAKAJIMA ISAO

今は懐かしい旅館

施設を「核」に まちなか再生

検討委員会での意見を参考に

北村（きたむら） 修（おさむ） 議員
KITAMURA OSAMU

問 「まちなか再生」事業の進め方、再生検討委員会の意見をどのように位置づけるのか。

答 町の顔として、地域経済、町民生活、文化などの中心的な役割があります。人が集い、賑わいを感じられるもの。商業の復興はもとより、町民生活や利便性の向上、コミュニティづくりの促進につなげます。

検討会等の意見は、まちなか再生計画として取りまとめ、役場の政策会議を経て、まちづくり委員会に諮問となります。

問 まちなか再生事業は復興推進の象徴ともいえる内容を持つものに。

答 策定中のまちづくり計画の中に復興計画、その中にまちなか再生を位置付けています。仮設店舗の今後の方向についても、意見等をいただきながら丁寧にスピード感をもって進めます。

問 「まちなか再生」の中心に高齢者や若者、子育て世代などが気軽に活用できるコミュニティ施設を「核」として、そこから営業が、人がつながるまちづくりをめざすべきではないか。

答 住まいの再建を優先してきました。次は、まちなかの再生です。

年度内に構想をまとめ、ロングスパンとなると思われますが、施策の体系から先行して進めるものも出てきます。そうした中に提案の「核」となるものも出てくるのではないかと考えます。

急がなくちゃ（トマト選果中）

感染を広げないためにPCR検査を

道の動向を注視して

問 感染を広げないためにPCR検査が必要です。国は10月から一般病院でもとした方向を示唆しています。

町として、苫小牧圏域の2次医療圏での対応を図り町民の安心体制づくりを進めるべきでは。

答 国の感染症対策本部から、検査体制の抜本的な拡充が出されています。

今後、道のほうで体制が作られるので、その動向を見ながら体制について考えていきます。

核ごみ持ち込みについて

断固反対します

問 後志管内寿都町の町長が、核ごみ（高レベル放射性廃棄物の最終処分場の候補地への文献調査）受け入れの報道がありますが見解は。

答 北海道は食糧基地、町も農産物、水産物と全国から高い評価を得ています。風評被害を受けるようになってはならない。

行政の使命として住んでいる町民の命、暮らしを脅かすものとは対立せざるを得ません。

断固反対します。

出前議会を開催しました

愛誠会と意見交換会

8月6日には、愛誠会と意見交換会を行いました。

愛誠会からは、横山理事長、大橋常務理事、鎌田理事、佐藤理事、浮津理事、大久保監事が出席しました。

議会側からは、小坂議長他10名の議員が出席しました。

○横山理事長　愛誠会はまちづくりの中では、雇用と地域経済に貢献できる福祉産業と位置付けられて、現在は11事業、利用者実人員260余名、雇用約140名、営業収益約10億円の中規模に分類される法人へと成長しました。

現在施設は築45年になり安全性、快適性等の改善、最も心配なのは耐震化の基準に合致していないということです。

当初20数億円を要して全面改築の構想を持っておりましたが、北海道庁は施設の長寿命化の方針を打ち出しており、大規模改修に補助制度が用意されたことを踏まえると、この先の見通しを考え、100名定員を80名まで縮小したプランを基本に、理事会や監事役員の合意形成を図ってまいりました。

議員からの質問は

質問　①大規模改修費用はいくらかかるのか。

②大規模改修でどのくらい長寿命化が図れるのですか。

③減価償却引当金はどうなっていますか。

④他事業との割合は。

応答　①大規模改修を考えた平成20年に比べ物価上昇、資材の高騰もあり、1．4～1．5倍になると考えられることから概算事業費として8億円を見込んでいます。

②20年程を想定しています。

③減価償却引当金としては積み立てしていませんが、財源があれば少額でも積み立てしてきた経過はあります。

④大きく分けて高齢者と障がい者の2つの部門を運営していますが、介護保険制度以降、高齢者部門は赤字障がい者部門は黒字という構造になっています。

現在、介護保険事業計画の中で特養施設の整備について行政と協議段階ですが施設整備に合わせて介護職員の確保も大きな課題とされ、外国人労働者やAI技術による作業の効率化による人材確保の検討も始めたという現状も聞き取りました。

鵡川慶寿会と意見交換会

慶寿会から今年1月に、議会との懇談会の要望が出されていました。

しかし、コロナ禍の下で延期になり、8月19日開催することが出来ました。

慶寿会から、菊池理事長、伊東監事、榊理事、佐藤理事、山口理事（施設長）が出席しました。

議会側からは、小坂議長他11名の議員が出席しました。

菊池理事長、山口施設長が慶寿会の現状と今後の課題について説明を行い、その後、意見交換を行いました。

一番の課題は人材確保

「慶寿会は、1979年に設立、41年が経過しています。

1980年に50床の慶寿苑を開設。

その8年後に80床へ増床し、1994年6月、10床のショートステイを開設しています。

80床を稼働させるためには、24人の職員が必要となりますが、現在は、22人で施設を運営しています。

退職者の増加により、慢性的な職員不足が続き、80床をフル稼働させることが困難な状況にあります。

今年度は採算ベースぎりぎりの64床の稼働を目指しています。

一番の課題は人材確保で、特に、地元の高齢者を支える地元の人材育成と確保が必要です。

来年度からの第8期介護保険計画に向けては、定員の80床維持は困難なことから、64床を維持し、今後の人口推計などを踏まえ必要なサービス量について行政と協議し、適正な定員規模での移転改築を考えています。

また、特養ホームのベット数の減少分は、グループホーム、サ高住など、要介護1、2の方が、地域で安心して暮らせる仕組みづくりの実現を求めたい」としました。

「ひだまりの里」は赤字運営

また、2011年6月から指定管理者として運営している高齢者生活交流センター「ひだまりの里（グループホーム・ふきのとう、こごみ荘）」の運営状況について「町からの委託料では経営が困難なため、慶寿会が資金を繰り入れし運営しています。実質赤字運営していることから町に対し、委託料の増額または、損失補填を求めています」と述べています。

カボチャで元気に

議員からの質問は

①職員の退職の理由は。

②80床を維持する必要があるのでは。

③グループホームや小規模多機能施設を増やす必要があるのでは。

④赤字運営のひだまりの里の運営は社会福祉協議会が担うべきでは。

⑤内部留保を持つべきでは等が出されました。

菊池理事長・山口施設長は、「施設の収入は介護報酬が唯一です。介護報酬の引き上げを国に訴えていただきたい。

介護度1、2の軽度の方々は、町外の施設利用をせざるを経なくなっている。

軽度の高齢者が利用できる施設、グループホームの増設や、サ高住の整備が課題と考えています」としました。

（意見交換会の内容は紙面の都合上、割愛しています。）

委員会報告

総務厚生常任委員会

町の台所事情は

【調査日】令和２年８月４日（令和２年２月12日から引き続き調査）
所管課より次の調査項目の説明を受け、質疑応答の後、意見を取りまとめました。

町財政の現状と課題について（継続調査）

○主な聴取内容

令和元年度決算後財政の現状と課題

令和元年度決算

・**歳入**で１３２億９７４９万円（前年度比22．４％の増）となり、普通交付税は減少、町税や譲与税が増加により経常一般財源は微増。

・**歳出**は、１２８億４１６４万円（前年度比31．４％増）となり、人件費は横ばい、扶助費や公債費の増加により義務的経費が微増し、地震の被災による災害復旧事業が大幅に増加。

・**経常収支比率**が91．２％（前年度比１．７％増）中長期財政運営指針（中長期財政フレーム）の推計値88．１％を上回る結果、交付税の減少、大型事業に係る公債費が増加することから注視が必要。

・**実質公債費比率**

９．６％（前年度費０．６％増）となり、推計値13．７％と比較すると大きく下回ったが、今後標準的な収入が減少する一方、大型事業に係る地方債や一部事務組合の償還財源に充てられる負担金が増加することから、事業に係る財源のコントロールが必要。

・**町債残高**

災害復旧経費等により、令和２年度末の地方債残高が99億円となり、推計値より３億円の増額が予想される新たな町債発行を抑制するなどの調整が必要。

・**財政調整基金**

地震に対する財源に充てたため大きく減少したが、元年度は事業に充当可能な財源確保で約２億円が積み立てられた。

令和２年度においても収支調整、特定事業に係る財源振替により約４億９千万円の繰入が予定。

今後の復興事業やまちづくり事業を進めるうえで財源の柔軟さが必要とされることを意識し、財政調整基金残高を管理していく必要がある。

・**減債基金**

町債の償還増加や発行額抑制に備えるため、７億円が維持されているが、必要に応じて適正な運用を図る必要がある。

○主な質疑応答

質疑　新型コロナウイルス感染症での町内２つの医療機関の財政事情が悪化により町財政への影響について。

応答　新型コロナウイルス感染症による影響額は把握できていないが、損失補填又は繰入金による措置とするが、穂別診療所に関しては、特別調整交付金等による財源確保に努める。

○主な意見

・胆振東部地震、新型コロナウイルス感染症による経済事情の悪化と町財政への影響が懸念され、町民の不安も想定されることから、広報等を通じてわかりやすい財政事情の町民周知に努めること。

本件は定期的な調査が必要とされるが、調査終了とした。

委員会報告

経済文教常任委員会

新型コロナの影響と対策は

【調査日】令和２年７月10日、７月21日
所管課より次の調査項目の説明を受け、質疑応答の後、意見を取りまとめました。

新型コロナの影響と対策（教育関連）

○主な聴取内容

臨時休校と感染予防対策学校行事等の中止と対応、再開に向けた取組、施設の休館状況、事業の中止等と今後の方向性などについて。

○主な意見

①子ども達の学ぶ権利と学校のあり方、安全安心と学びの確保を図ること。
②学習の遅れの対応に無理のない授業時間確保対策と心のケアを図ること。
また、教師の働き方にも配慮すること。
③タブレット活用やオンライン授業とした場合には、生徒や家庭によって経済負担が出ないよう配慮すること。
④社会教育では、感染予防対策を徹底しながら、対応を図ること。

漁業振興について

○主な聴取内容

魚価安が続き経営が安定しない漁業の実態と町の水産資源、さらに事業計画が予定されているししゃもふ化場の移転計画と実施の方向性について。

○主な意見

①ししゃもふ化場の移転建設の早期実施と生態解明などの研究を関係機関と進め安定漁獲対策を。
②ふ化場に関連して交流人口を増やす対策を。
③鵡川に遡上するサケやししゃもの生態等が見て楽しめる施設の検討を。
④漁獲量を増やす支援と、販路拡大の継続をすること。

新型コロナの影響と対策（一次産業及び商工業関連）

○主な聴取内容

農林水産業、漁業、商工業での持続化給付金の申請状況、これまでの飲食店等への経済支援の取組状況について。

○主な意見

①国の持続化給付金申請の手続き支援を。
交付決定後もすぐに支給されていない問題点の解決を。
②経済支援で各産業にわたる支援助成計画を早期に実施すること。
③今後プレミアム商品券の発行事業があり、さらなる継続支援を。

各工事の進捗状況

○主な聴取内容

今年度の工事発注状況は、7月段階で74％、9月にはほぼ発注が完了になると示された。

質疑では、前年度2度の不落札で執行されず、今年度に延ばされていた穂別町民プール建設をめぐる課題だと指摘。

担当課からは、事業執行予算の見直しで今年度着手、8月1日オープンと報告され、事業予算が3割増額となったことが示された。

○主な意見

①資材の確保や技術者の確保など課題があったとされるが、不落札が繰り返しとなれば、今後の工事発注に課題を残すことにつながる。
今後、設計段階からのしっかりした対応が求められる。

特別委員会（中間）報告

恐竜ワールド構想調査特別委員会

【調査日】令和２年７月13日
所管課より説明を受け、質疑応答の後、意見を取りまとめました。

恐竜ワールド構想推進計画の取組状況等について

○主な聴取内容

●恐竜ワールド構想推進計画における取組状況について。

●交付金・助成金などを活用した事業の取組状況について。

●計画の見直しに向けた考え方、スケジュール

計画の最終年度で、令和３年度以降の恐竜事業の方向性や取り組みを整理し、切れ目ない取り組みとする、

胆振東部地震、新型コロナウイルス感染症の影響による現計画での困難な取り組みを検証し、現計画の見直しで推進。

新たな視点として、むかわ竜を震災からの復興をめざすシンボルとし、ウポポイ開業による周遊観光と連携した交流人口拡大の取り組みなどを盛り込む。

令和３年３月の公表が予定。

町民参画として、まちづくり委員会、関係機関のほか広報等を活用した町民からの意見聴取も行う。

○主な質疑応答

質疑　博物館のリニューアルの方向性や今後の考え方では、国や道の支援を得られるよう進めることが重要。現時点での働きかけ・状況は。

応答　方向性は、国や道の支援により計画が成り立つもので、国がコロナ対策を進めている中ではリニューアルに向けた施策は見えません。

支援要請について、町長を中心としたトップセールスで北海道に要望し、今後地方創生の第２期ステージに向かうなかで、拠点整備事業の対象化に向けて各関係機関へ働きかけます。

○主な意見

指標が出るまで調査を継続し、方向性が明確になった段階で特別委員会を終了するのが妥当。

しかし、震災、コロナ禍によりハード事業の展望ができない状況においては、調査を継続し、計画最終年度、令和２年度に最終判断すべきと継続審査とする。

立ち上がったカムイサウルス・ジャポニクス

特別委員会(中間)報告

胆振東部地震復旧復興調査特別委員会

【調査日】令和２年８月６日
所管課より説明を受け、質疑応答の後、意見を取りまとめました。

むかわ町復興計画について

○主な聴取内容

①復興計画の進捗状況について。
②応急仮設住宅から公営住宅等への移行並びに被災住宅の復旧及び支援の状況について。
③まちなか再生に向けた取り組みの現状について。
④災害義援金等の配分について。
⑤災害後の心のケア対策事業及び在宅支援訪問プロジェクトの推進状況について。

計画期間が7年とした中で、具体的な推進内容を3つの期間に分け、第1期を令和2年度までとし、復旧に係る緊急を要するものを推進する期間、さらに復興に係る事業の調査検討期間となっていることから、本委員会としても実践的な対応として調査検討を行いました。

進捗状況は、応急仮設から公営住宅への入居は、11月には入居が可能となり、鵡川高校の生徒寮も年度内入居の方向などが示されました。

心身の健康管理も適時に進められているが、まだ時間を要する課題であるとされました。

復興に係る防災対応、農林水産業などの継続する内容を含めて推進しているがなりわいの再生・持続化支援では、商店街整備とはならず「まちなか再生事業」として検討、「まちづくり計画」と連動して協議が開始されているとの内容が報告されました。

○主な意見

今回の調査内容は、「計画の進捗状況」と計画全般に及んでおり、さらに11月には応急仮設から公住等への移動が急がれる等の課題等が多く、「十分な時間を確保した調査検討が必要」との意見が出された。

表紙の写真

鵡川運動公園パークゴルフ場でプレーを楽しむ町民

議会事務局からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

発行：むかわ町議会　〒054-8660 勇払郡むかわ町美幸2丁目88番地
編集：議会広報委員会　TEL0145-42-2486　FAX0145-42-4994
印刷：清文堂印刷㈱　〒054-0042 勇払郡むかわ町美幸1丁目12番地